

7月10日は参議院選挙!

みんなのユニオン
道労連
ニュース
DOROREN NEWS

2016年6月号
2016年6月17日

発行元:北海道労働組合総連合
札幌市白石区菊水5条1丁目4-5
Tel:011-815-8181
info@dororen.gr.jp
http://www.dororen.gr.jp/



2016年5月13日
戦争法廃止!
フライデーアクション

参議院選挙が7月10日投票(公示日6月22日)で行われます。戦争法成立後、最初の全国国政選挙です。国民のいのちと暮らしをないがしろにし、ウソとごまかしで国民を欺く、安倍自公政権を少数に追い込む、国民のきびしい審判を下す選挙です。

1票で変える 改憲を止める

許さない! 戦争法の発動と改憲

安倍首相は、6月1日、陸上自衛隊第10次隊第2陣120名をアフリカ・南スーダンに派遣しましたが、戦争法の発動は回避しました。他国軍を守る「駆けつけ警護」など武力行使の任務は、選挙前にはできなかったのです。消費税の10%への増税も、TPPの国会批准も、見送りました。国民世論が許していないという事です。

しかし、今回の参議院選挙の結果次第で一気に発動する構えです。「改憲」を争点から隠した上で、憲法「改正」発議に必要な3分の2議席を獲得し、名実ともに「戦争する国」に仕上げて行こうというのが狙いです。

安倍政権の3年半を問う

安倍首相は、アベノミクスの3年半の実績を「ベアが実施された」「110万人の雇用をつくれた」と豪語しています。実態は、5年連続実質賃金のマイナ

ス、雇用は非正規労働者が172万にも増え、正規は23万人も減少しました。非正規労働者が4割に達しました。格差と貧困を広げ、不安定雇用に押し込められたというのが実態です。

最低賃金の引き上げ、同一労働同一賃金、保育士や介護労働者の賃金引き上げを盛り込んだ「一億総活躍プラン」は、選挙前にして国民の批判をかわすためのアドバルーンに過ぎないのには明らかです。

参議院選挙は、戦争法の廃止、立憲主義の回復の是非を最大の争点に、アベノミクスの失敗、社会保障の切り捨て、TPPの強行、消費税の増税、雇用破壊などアベ政治そのものを問う選挙です。

戦争法廃止の国会議員を

道労連は、今年2月の第65回評議員会で、「戦争法廃止・立憲主義の回復の要求で一致する団体・個人との共同の運動を大きく広げたい。野党統一候補の実現に努力し、支援してたたかう」という当面する国

政選挙に臨む基本的なスタンスを確認しています。この方向で参議院選挙もたかいます。

参議院選挙は、政党を選ぶ「比例代表選挙」と候補者を選ぶ「選挙区選挙」があります。北海道の選挙区は3人区で、野党統一候補は実現していません。

道労連は、比例代表でも選挙区でも、戦争法反対の政党と候補者の当選を多数にするため全力をあげます。また、組合員が投票先を決める「3つの判断基準」として、①戦争法廃止、立憲主義回復、憲法を守ること、②雇用・社会保障の充実、賃金底上げ、格差是正を図ること、③大企業優先から暮らし第一の経済政策への転換をすすめることを政策としていることを選択基準とし、選挙権行使を呼びかけます。

5区補欠選挙の教訓

4月の衆議院北海道5区補欠選挙では、野党統一候補を道労連として支援し、市民とともにたたかいました。惜しくも当選には至り

ませんでした。大健闘でした。

この選挙で市民と野党が共闘してたたかえば、少数支配を可能とし、民意を反映しない小選挙区制という極めてゆがんだ選挙制度の下でも、安倍自公政権を追い込むことは可能だということを示しました。市民との共同を広げ、若者や女性など新しい層の政治参加をつくりだしたのも特徴です。また、労働界でも組織の違いをこえて、選挙戦を一緒に取り組むという歴史の新たな到達をつくりました。

こうした共闘は、一足飛びに実現したのではなく、イラク戦争反対にはじまり、沖縄の新基地建設反対の闘争、オール北海道でたたかったTPP阻止のたたかい、脱原発、労働法制改悪阻止、そして戦争法廃止の総がかり行動、2000万署名など、全力をあげてきた一点共同の積み重ねが、全国では5区補欠選挙の画期的な統一候補の教訓が活かされ、参議院32の一人

全組合員の奮闘を!

まずは労働組合として、職場に政治の風を吹かせ、職場での対話討論を促進し、組合員の100%投票をめざします。5区補欠選挙で7割の無党派層の支持を得た教訓から市民との共同をいっそう広げて投票率を大きくアップさせ、新しい層の政治参加を勝ち取る力がカギです。18歳選挙権もスタートします。

安倍政権は、ウソとごまかしで国民を欺き、改憲への扉を開こうとしています。道労連の総力をあげて阻止しようではありませんか。労働組合が総力をあげ、市民と力を合わせれば、政治は変えられます。全組合員の奮闘を呼びかけます。

北海道労働組合総連合

議長 黒澤幸一

いますぐ1000円以上に!



6月6日に今年度の第1回目となる北海道最低賃金審議会がひらかれ、最低賃金のあり方をめぐり攻防がはじまりました。

道労連はこの間、最低賃金の大幅な引き上げ、地域間格差の是正と全国一律性の確立、民主的な審議会の任命と運営を求めてきました。世界では時給15ドルの最低賃金を求める運動が広がり、1000円以上が常識となりつつあります。

しかし、現在の北海道の最低賃金は時給額で764円、あまりに低すぎます。青年や非正規労働者を中心に「時給1500円」を求める声が上がっています。

最賃大幅引き上げへダイナミックな運動を

1500円を 求める声は「当然」 最低生計費調査

最低賃金闘争のスローガンである「はたらけば暮らせる賃金」「まともな賃金」などを科学的に示す根拠として、静岡県立大学・中澤秀一准教授との共同調査で、北海道ではじめて「最低生計費試算調査」に取り組みました。

札幌市で若者が「健康で文化的な最低限度の生活」をおくるためには、男性で月額22万5002円、女性で月額22万249円（ともに税等込み）が必要という結果になり、年額に換算すると約270万円です。

その暮らしぶりは、札幌市白石区の25平方メートルの1DKのアパートで、家賃は最低価格帯で3万4千円（共益費込）。車は持たず、地下鉄で通勤。食費は月に2〜3回の飲み会やランチを含め、男性で約4万円、女性で約3万2000円。家電製品は量販店で最低価格帯のものを揃える。衣類は「人前に出て恥をかかないでいられるため」に必要なもので、男性の場合は1着1万5800円の背広を2着購入した場合、それを

4年間買わずに着用。女性の場合は1着3310円のワンピース2着を4年間着用するという内容です。その他の衣服も基本的には購入後2〜4年間着用することを想定しています。休日の過ごし方は「自宅での休養」がメイン。月に1度、5000円程度の日帰り旅行に出かけられるが、恋人や友人と映画やショッピングをするための予算は月8000円。他に小遣い（喫茶店でのコーヒーなど）に使えるお金は月に6000円。これだけ切り詰めても手元に残るのは男

性で1万6300円、女性で1万5900円。もし、車を持っていたり、奨学金の返済があるとしたら、月収約22万円でも「赤字」になってしまい、貯金もままなりません。

この調査結果からも明らかのように、最低賃金は1000円でも「低すぎ」であり、1500円を求める声は「当然」と言えます。現在のあまりにも低すぎる最賃とその影響を受け「押しとどめられている」賃金水準に対して、「こんなもんだ」と思っている、思い込まされている労働者に向

けた励ましとなるものであり、組織化をすすめる上で大きな変化をつくっていく土台となるものです。

最賃上げる！ 声あげはじめた若者たち

こうした粘り強い運動と合わせて、青年たちが自ら声をあげ始めています。昨年12月22日には「札幌青年ユニオン」（委員長・岩崎唯さん）が結成され、ブラック企業に対抗して青年労働者の働く権利を守ろうと奮闘しています。結成翌日の23日に行われた「最低賃金上げるデモ札幌」の中心は

20〜30代の若者たちでした。コンビニでアルバイトとして働いていた27歳の女性「月収は9万円。とても家賃など払えず、両親に頼らざるをえない。最賃を上げたい。暮らしていける社会にしたい」とデモに参加しました。報道陣も多数取材に来ており、国会会期中や最低賃金の審議が始まってから決定するまでの期間以外で、「最賃デモ」がこれほどまで注目されたことはかつてありません。青年たちが自分たちの働き方に、暮らしぶりをありのままに訴え、「誰が何を訴え

ているのか」「どう見せるのか」という点にこだわり抜き、訴求力を高めるために工夫し妥協しない姿勢は、「ベテラン」も含めて見習うべきです。

職場での最賃協定の締結と職場最賃の引き上げ闘争を強化し、「Fight for 15（15ドルのため）」など世界同時アクションも含めて、最賃など賃金闘争を社会的にたたかうことをいっそう重視しよう。

最低生計費総括表

	北海道（札幌市）	
	25歳男性 賃貸アパート	25歳女性 1K25㎡
消費支出	163,824	159,471
食費	39,991	32,310
家での食事	22,848	18,867
外食・昼食	10,000	5,000
外食・会食	6,000	7,500
廃棄分	1,143	943
住居費	32,000	32,000
家賃	32,000	32,000
更新料	0	0
光熱・水道	10,206	9,933
家具・家事用品	4,090	4,398
家庭耐久財	1,583	1,583
室内装備・装飾	237	237
寝具類	501	501
家事雑貨	911	1,097
家庭消耗品	858	980
被服・履物	5,828	4,431
被服	4,352	3,119
履物	1,116	952
洗濯代	360	360
保健医療	4,558	3,274
交通・通信	16,660	17,438
交通費	9,850	9,850
通信費	6,810	7,588
教育	0	0
教養娯楽	30,068	30,068
教養娯楽耐久財	4,958	4,958
教養娯楽用品	0	0
書籍	800	800
旅行・帰省	15,000	15,000
レジャー・スポーツ	8,000	8,000
NHK受信料	1,310	1,310
その他	20,423	25,619
理美容用品	1,327	5,434
理美容サービス	1,900	3,833
身の回り用品	629	852
自由裁量費	6,000	6,000
交際費・その他	10,567	9,500
非消費支出	44,878	44,878
所得税	4,515	4,515
住民税	8,258	8,258
社会保険料	32,105	32,105
予備費	16,300	15,900
最低生計費	180,124	175,371
税込み月額	225,002	220,249
税込み年額	2,700,024	2,642,988
必要最低賃金額	1,295	1,267
最低賃金額	764(2015年)	764(2015年)

—全労連・第24回非正規ではたらくなかまの全国交流集会in北海道—

労働組合に入って 実現しよう！非正規の要求

全労連・第24回非正規ではたらくなかまの全国交流集会in北海道（主催：全労連非正規センター）が6月4日・5日、札幌市内で開催されました。過去最高の550人（両日のべ960人）が集まり、最低賃金の引き上げや均等待遇、雇用の安定の実現に向けて、「全労連あげ非正規労働者の組織化を進める」ことを確認しました。全道から350人余りが参加しました。

を代表して、小田川義和全労連議長が「全労連あげ非正規労働者の労働組合の仲間を増やし、非正規労働者の主体的な取り組みの強化をめざす。全労連の非正規センターを運動推進のセンターとして発展させたい」とのべ、非正規労働者の組織化と要求実現の運動を全労連運動の中心に据え奮闘するとしました。

記念講演で中野晃一上智大学教授は、「グローバルな市民社会の緩やかな連携を広くもち、個人の尊厳を守る『砦』を築き直す必要がある。労働運動や市民運動の盛り返しがカギを握っている。時間はかかっても必ず前進する。確信を持ってたたかい抜こう」と述べました。

集会では、ウポポ保存会によるアイヌの踊りでオープニングを飾り、基調報告、リレートーク、トークセッション、争議団激励など労働組合の魅力や余すことなく語るステージが繰り広げられました。一年以上に渡って準備してきた現地実行委員のメンバー40人あまりがステージに上がり、「つないだ手を離さず」のテーマソングを斉唱し、小田川義和と井澤良恵のスペシャルトリオの伴奏で歌い上げました。

その後、参加者全員で「サウンド☆デモ」にくり出し「最賃あげろ！今すぐあげろ！」「労働組合に今すぐ入ろう」「貧困なくせ！」と若者を先頭に札幌中心街で元気にアピールしました。「楽しかった。北海道のデモは最高！」と声が上がりました。

5日は、「青年が労働組合を語る・UNITE×U」



5日は、「青年が労働組合を語る・UNITE×U」

閉会集会では、「来年は静岡」での開催が発表され、仲間をふやして、また来年も元気に成功させようと確認し合い閉幕しました。



200回 道庁北門前反原発抗議行動

北海道反原発連合が2012年7月6日にスタートさせた道庁北門前反原発抗議行動は6月3日、200回目を迎えました。

北海道反原発連合は同日、高橋はるみ知事あてに要請書を提出。①泊原発の再稼働について、必要か、不要か、知事自身の態度を表明すること、②大間原発の建設中止を求め、③原発に反対する道民の声を直接会って聞く場をつくること—の3点を申し入れましたが、道の回答は「原子力規制委員会が厳正に審査中。具体的内容が示されれば、道議会の議論をふまえて適切に対応」とするだけで、先頭に立って道民



の安全を守る立場ではありませぬ。北海道反原発連合、「直接対話」の場を持つよう、強く求めました。

200回目の抗議行動には300名が参加。「高橋はるみ知事！私たちの声をちゃんと聞いて下さい！」「フクシマを二度と繰り返さないで！」「一度事故が起きたら取り返しのないものをこれ以上作っちゃいけないし、動いている原発はすぐにとめてほしい」と訴えました。

運動はいよいよ正念場を迎えます。子どもたちに安心して暮らせる北海道を手渡すために、「再稼働反対」「原発なくせ」の声をあげ続けましょう。

めざせ！ 魅力語れるオルガナイザー

—労働学校in函館—



5月28日、函館市の平和と労働センターで「道労連・労働学校in函館」が開催され、公務や民間の職場から17名が参加しました。

働くルールの解釈と「どう行使するのか」を通じて、労働の魅力を考える「学ぼう！活かそう！労働法」、デモなど社会運動の変革と世論の変化から労働者の役割や魅力を考える「UNITE&FIGHT」社会を変える！、がんばっている

労働学校修了後の交流会

でも、職場や労働組合の状況を語り合い、それぞれの職場で仲間を増やし、要求実現の運動を大きく前進させようと確認し、決意を固めました。

労働学校は、労働組合の意義と必要性を学び、交流すること、自ら、労働組合の魅力語る「オルガナイザー」となる次世代の活動家の養成を目的としています。

労働組合の未来を担う青年を増やすために、労働学校やわくわく講座など、全道の職場・地域で広げましょう。

労働者の団結で 戦争法廃止！立憲主義を取り戻そう！

全道27カ所 8000名

第87回メーデー



第87回メーデー北海道集会

**国民の共同の力で
ストップ！「暴走」政治**

全道的に晴天に恵まれた5月1日、全道27カ所でメーデー集会が開催され、約8000名が参加しました。桜が満開の札幌中島公園自由広場で開催された第87回メーデー北海道集会には、40団体から3500名が参加しました。

日曜日のメーデー集会には、子どもたちもたくさん参加し、一緒に全員で文字「NO WAR」を完成させ、頭上を旋回するセーナ機に向かって桜色のしおりを掲げ、「NO WAR」とコールしました。主催者を代表してあいさ

つに立った黒澤幸一実行委員長（道労連議長）は、「戦争法の強行成立や公約違反のTPPに対する国民の怒りは頂点に達しています。今年のメーデーを労働者の一大決起の場として、国民の共同の力で、戦争法廃止と立憲主義を取り戻し、安倍『暴走』政治にストップをかけよう！」と訴えました。

来賓として日本共産党から、紙智子参議院議員、山和也衆議院議員、森つねと参議院北海道選挙区候補が駆けつけました。紙議員は5野党で提出した安保関連法廃止法案やTPPをめぐる国会情勢について報告し、「国民の力と野党共闘

の前進で戦争法廃止！安倍政権を退陣に追い込みましょう！」と呼びかけました。各アピールでは、福祉保育労組明啓院分会の「不当配置転換撤回を求めるとたかい」の訴え、「あすわか」（明日の自由を守る若手弁護士会）による替え歌「卒業」は改憲をねらう安倍政権の危険性をうきぼりにし、食農連絡会のTPP批准を許さない「餅まき」で会場は大いに盛り上がり、子どもたちが美味しそうにお餅をほおばる姿があちこちで見られました。

集会後のデモ行進は、サウンドカーを2台配置。車上から音楽にのって「戦争法は今すぐ廃止！」「最低賃金1000円以上に！」とコールすると、沿道からも一緒にコールしたり、若者はリズムに合わせて踊ったり、手を振る人がたくさん見られました。

今、団結の時！

函館集会は、30団体350名が参加。平和運動フォーラムが連帯あいさつで、『戦争をさせない道南総がかり行動』での共同をよびかけました。『やめるべ戦争函館行動』と、現役大学生が戦争法廃止のスピーチを行い、デモ行進終了後、山車、横断幕、仮装の審査を行いました。
苦小牧集会は、25団体281名が参加。「うたごえ



サークルわたぼうし」がオーピングを飾り、デコプラ審査や3kmのデモ行進を行いました。
浦河集会は、全道で唯一、全労連系と連合系の共同開催です。4年目の今年は160名が参加。池田拓町長は、「子どもの貧困を改善しなくてはならない。そのためには労働者が豊かになることが必要です」と来賓挨拶を行いました。
滝川集会は、9団体60名が参加。アコーディオン伴奏で「世界をつなげ花の輪に」などうたごえでスタート。滝川原水協、消費税廃止空知各界連、年金者組合、新婦人、滝川共同連絡会がリレートークを行いました。
旭川集会は、400名が参加。プラカードや大きな作り物などの工夫で賑やかな集会となり、ラップの曲に合わせたコールで元気にデモ行進しました。
富良野集会は、7団体41名が参加。観光客で賑わう市内をデモ行進し、終了後

の昼食交流会には27名が参加し、大盛況でした。最後に2000万署名と熊本地震災救援募金に取り組みました。
釧路集会は、400名が参加。子ども対象のアートバルーンや鯉のぼりづくり、くじ屋さんも登場。集会では、7団体から「アベ政治のココが許せない」のアピールや、仮装・デココンクールを行い、憲法9条守れをアピールし「9」の文字を作成。デモ行進は、前日から青年たちが準備し、デモの指揮もととり、初めてのサウンドデモを行いました。
日本が平和への道を歩むのか、再び「戦争する国」に突き進むのか、歴史的岐路に立つ今、メーデーで固め合った団結は大きな力です。参議院選挙は目前です。戦争法廃止、雇用とくらしを守るため、国民共同のたたかいで、安倍「暴走」政治を打ち破りましょう。



釧路集會